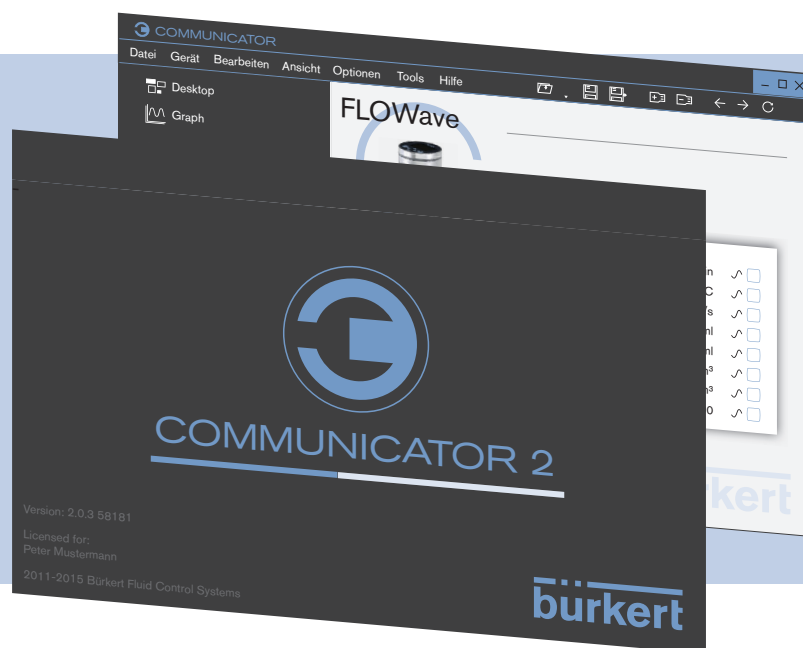


# タイプ 8920 Bürkertコミュニケーター

Bürkert装置の通信用ソフトウェア



取扱説明書 – ソフトウェア




We reserve the right to make technical changes without notice. 技術的変更を行うことがあります。  
Sous réserve de modifications techniques.












© Bürkert Werke GmbH & Co. KG, 2013 – 2018

Operating Instructions 1808/00\_JA-ja\_00810390 / Original DE

# Bürkertコミュニケーター

## 目次

1	取扱説明書.....	6
1.1	表記 .....	6
1.2	定義 .....	7
2	使用目的 .....	7
3	一般注意事項.....	7
3.1	連絡先.....	7
3.2	インターネット上のインフォメーション .....	7
4	製品説明 .....	8
5	ユーザーインターフェース.....	9
5.1	ユーザーインターフェースの範囲 .....	9
5.2	ツールバー .....	10
5.3	メニューバー.....	11
5.4	ナビゲーション領域.....	13
5.4.1	デスクトップ  :形成エリア .....	14
5.4.2	グラフ  :値のグラフィック表示 .....	17
5.4.3	インターフェース  .....	18
5.4.4	装置または製品 .....	18
5.4.5	構成.....	19
5.5	適用範囲.....	20
5.5.1	装置または製品 .....	20
5.5.2	構成.....	21
5.5.3	[パラメータ]タブ .....	22
5.5.4	[診断]タブ .....	22
5.5.5	[メンテナンス]タブ .....	22
6	ソフトウェアのインストール .....	23
6.1	システム要求.....	23
6.2	コミュニケーターのインストール.....	23

<b>7</b>	<b>プロジェクトの作成</b> .....	<b>24</b>
7.1	コミュニケーターの起動  .....	24
7.2	インターフェースの追加  .....	24
7.3	装置または製品の設定 .....	26
7.4	 または  でのプロジェクト保存 .....	27
<b>8</b>	<b>操作および機能</b> .....	<b>28</b>
8.1	プロジェクトの編集 .....	28
8.1.1	プロジェクトの開閉 .....	28
8.1.2	インターフェースの追加または切断 .....	29
8.1.3	データの読み込み .....	29
8.1.4	装置構成のバックアップまたは復元 .....	30
8.2	コミュニケーターでの設定 .....	32
8.2.1	言語の設定 .....	32
8.2.2	単位システムと単位の選択 .....	32
8.2.3	接続中断時のグラフ保持または削除 .....	34
8.2.4	ライセンスの管理 .....	36
8.2.5	有効または無効のパスワード保護でパスワード設定 .....	36
8.3	情報とヘルプ .....	38
8.3.1	ヘルプ .....	38
8.3.2	ドライババージョン .....	38
8.3.3	ソフトウェア情報およびメーカーアドレス .....	38
8.3.4	ログブックファイル .....	38
8.4	büSネットワーク構成 .....	39
8.4.1	büSマップ .....	39
8.4.2	büSマップによるネットワーク構成の編集 .....	41
8.5	デスクトップのレイアウト .....	43
8.5.1	デスクトップの編集または保存(  または  ) .....	44
8.5.2	ウィジェットとしてプロセス値のを貼り付け  .....	44
8.5.3	グラフィックエレメントまたはテキストの貼り付け  、  、  、  .....	45
8.5.4	ウィジェット、グラフィックエレメントまたはテキストの変更 .....	46

<b>8.6</b>	<b>グラフ.....</b>	<b>51</b>
8.6.1	ビューへのグラフ調整.....	52
8.6.2	軸のスケーリング .....	54
8.6.3	グラフの色変更 .....	54
8.6.4	ログファイル(データベース)へのグラフ保存 .....	55
8.6.5	データベースの開閉.....	56
8.6.6	その他の機能 .....	57
<b>9</b>	<b>コミュニケーターのアンインストール .....</b>	<b>58</b>
<b>10</b>	<b>用語集.....</b>	<b>59</b>

# 1 取扱説明書

取扱説明書はBürkertコミュニケーターの基本的な操作について説明しています。本説明書はすべてのユーザーの手の届く所に保管し、また、新しい所有者が利用できるようにしておいてください。

## 警告!

安全に関する情報。

通信可能な装置または製品の安全に関する説明および情報は、それぞれの操作説明書に記載されています。記載されている注意事項に留意しないと、危険な状況が生じます。

- ▶ 取扱説明書を読み、理解している必要があります。

## 1.1 表記

### 危険!

直接的危険性についての警告。

- ▶ 遵守しない場合、死亡または重傷を負う可能性があります。

### 警告!

危険な状況に陥る可能性についての警告。

- ▶ 遵守しない場合、重傷を負う、または死亡する可能性があります。

### 注意!


潜在的危険性についての警告。

- ▶ 遵守しない場合、軽症または中程度の傷害を負う可能性があります。

### 注記!

物的損害についての警告。

- ▶ 遵守しない場合、装置やシステムが損傷する可能性があります。

 重要な追加情報、ヒントおよび推薦事項を示します。

 本取扱説明書あるいは他の文書の情報の参照指示です。

- ▶ 危険を回避するための指示を示します。

→ 実行する必要のある作業手順を示します。

- ✓ 結果を示します。

## 1.2 定義

本説明書で使用される「装置」または「製品」という用語は、常に通信可能な装置または製品を表します。

## 2 使用目的

Bürkertコミュニケーターを適切に使用しない場合、人、周囲のシステムおよび環境に危険が及ぶ可能性があります。

ソフトウェア「Bürkertコミュニケーター」は、Bürkert装置との通信用に設計されています。

- ▶ 使用に際しては、契約書と取扱説明書に明記されている各装置や製品の許容データ、稼働・使用条件を遵守してください。
- ▶ ソフトウェアは、Bürkertが推奨する、もしくは承認する場合にのみ、他社の装置やコンポーネントと組み合わせて使用してください。
- ▶ 安全で欠陥のない操作のための前提条件は、適切な設置、注意深い操作およびメンテナンスです。
- ▶ ソフトウェアは必ず適切に使用してください。

## 3 一般注意事項

### 3.1 連絡先

#### ドイツ

Bürkert Fluid Control Systems  
Sales Center  
Christian-Bürkert-Str. 13-17  
D-74653 Ingelfingen  
Tel. + 49 (0) 7940 – 10 91 111  
Fax + 49 (0) 7940 – 10 91 448  
E-mail: [info@de.buerkert.com](mailto:info@de.buerkert.com)

#### インターナショナル

連絡先は右のインターネットサイトでご覧になれます：

[www.burkert.com](http://www.burkert.com)

### 3.2 インターネット上のインフォメーション

製品タイプについての取扱説明書とデータシートは以下のインターネットサイトでご覧になれます：

[www.buerkert.de](http://www.buerkert.de)

## 4 製品説明

Bürkert装置と通信するためのソフトウェア「Bürkertコミュニケーター」は、用途特定のパラメータの設定と監視を便利にします。

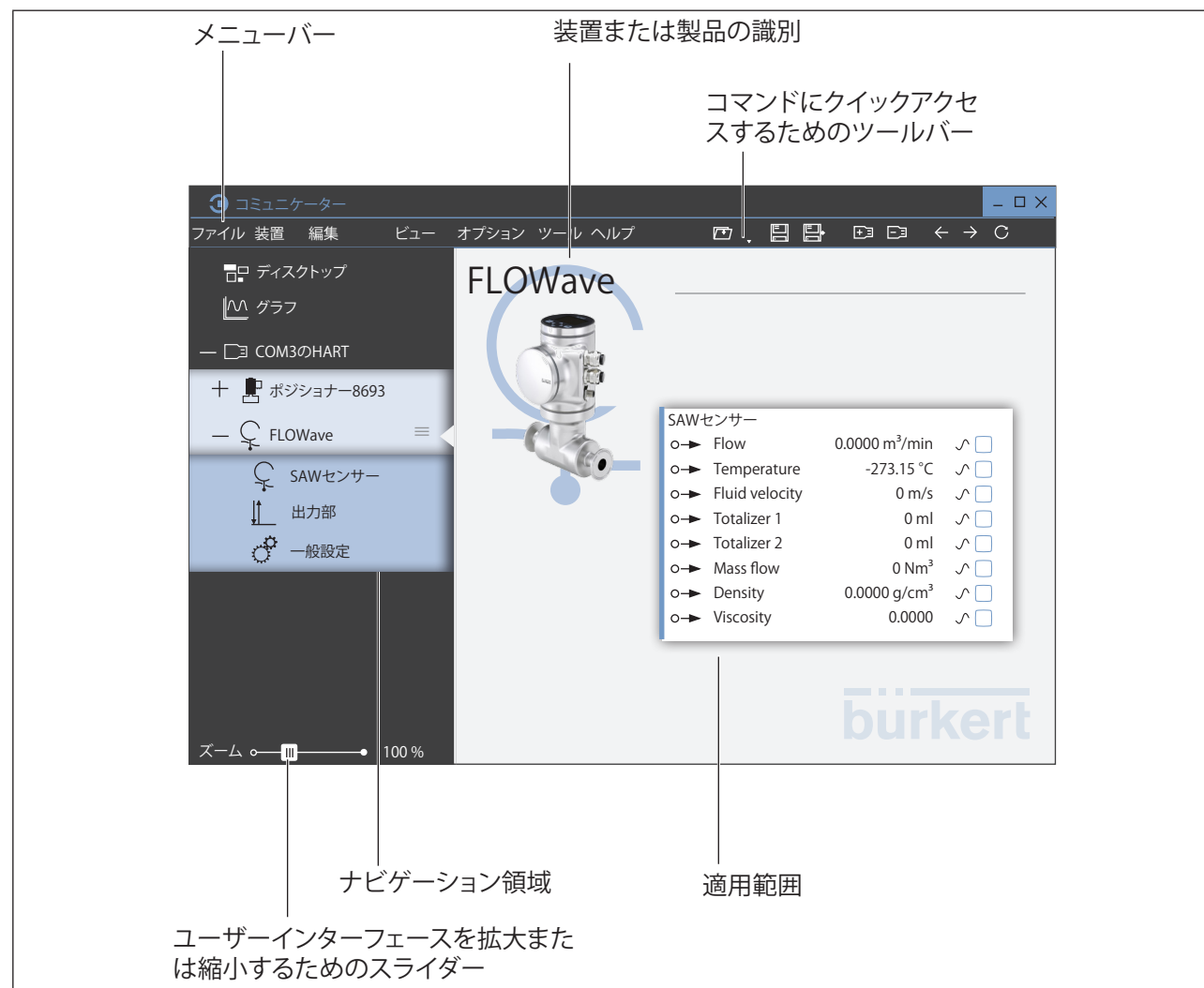
特徴：

- シリアルインターフェースまたはBUSインターフェースでBürkert装置を構成。
- Bürkert-büSネットワークの構成。
- プロセス値のグラフィック表示。
- 記録された測定値の保存と表示。
- 装置のファームウェア更新。
- 装置構成のバックアップと復元。



## 5 ユーザーインターフェース

### 5.1 ユーザーインターフェースの範囲

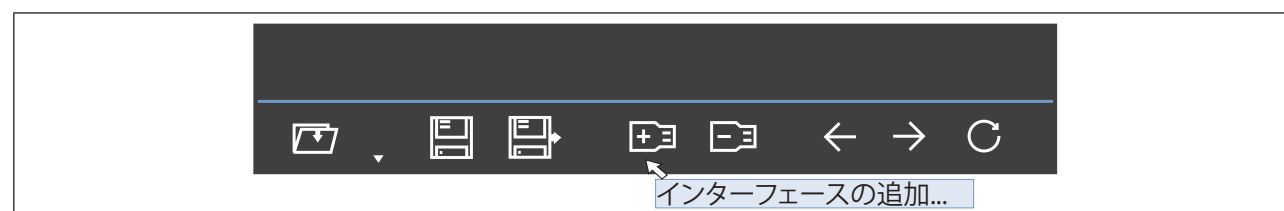


挿図 1: ユーザーインターフェースの概要(例)



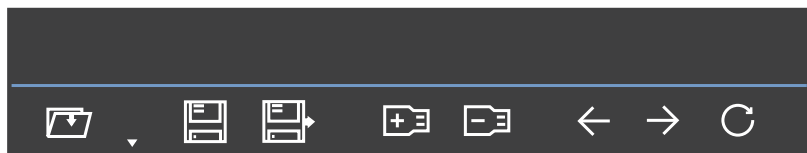
多くのシンボルには、コマンドを説明するツールチップ(短い情報)があります。

コマンドが利用できない場合、弱められた状態が表示されます。



挿図 2: ツールチップ

## 5.2 ツールバー



コミュニケーターの最も重要なコマンドはツールバーにあります。これらのコマンドおよび他のコマンドは、メニューバーにあります(„5.3 Menüleiste“の章を参照)。

シンボル	メニュー	コマンドまたは説明
 プロジェクトを開く...	ファイル/ プロジェクトを 開く...	既存のプロジェクトを開きます。
 最近開いたプロジェクト...	-	最近開いたプロジェクトのドロップダウンリストを開きます。
 プロジェクトの保存	ファイル/ プロジェクトの 保存	現在のプロジェクトを保存します。 注記: プロジェクトの最初の保存ではコマンドがアクティブではありません。
 プロジェクトの保存先..	ファイル/ プロジェクトの 保存先...	現在のプロジェクトを新しいファイルに保存します。
 インターフェースの追加...	ファイル/イン ターフェースの追 加...	新しいインターフェースを追加します。
 インターフェースの切断	ファイル/イン ターフェースの切 断	現在のインターフェースを切断します。
 戻る	編集/元に戻す	最後に行った変更を元に戻します。
 進む	編集/繰り返し	最後に行った変更を繰り返します。
 更新	ビュー/更新	コミュニケーターは、装置または製品の現在の値を読み取ります。

表 1: ツールバーの説明



コマンドの詳細については、„8 Bedienung und Funktionen“の章を参照してください。

## 5.3 メニューバー



メニュー	コマンドまたはサブメニュー	コマンドまたは説明
ファイル	プロジェクトを開く...	説明については「 <a href="#">5.2 Symbolleiste</a> 」を参照してください。
	プロジェクトの保存	
	プロジェクトの保存先..	
	インターフェースの追加...	
	インターフェースの切断	
	データベースのロード...	データベースをインポートします。
	閉じる	プロジェクトとコミュニケーターを閉じます。
装置	装置構成のバックアップまたは復元	装置構成のエクスポート、インポート、コピーまたは上書きが可能です。
	自動ファームウェアアップデートの開始...	装置または製品のファームウェアを現在の状態に更新します。
	ファイルからファームウェアアップデートをロード...	ファイルからファームウェアアップデートをインポートします。
編集	元に戻す	最後に行った変更を元に戻します。
	繰り返す	最後に行った変更を繰り返します。
ビュー	更新	装置の現在の値は、コミュニケーターによって読み込まれます。
	言語	▶ メニュー、ツールバー、ナビゲーション領域および適用範囲でのデフォルト言語選択。
	単位システム	▶ <ul style="list-style-type: none"> <li>単位システムの選択(メートル法、米国慣用単位または帝国単位)。</li> <li>サイズの特定期単位の選択(m、mm、...)。</li> </ul>
	グリッドとウィジェットの位置合わせ	▶ デスクトップ上に貼り付けたウィジェット、図形要素またはテキストをグリッドに合わせることができます。 「移動時」および/または「サイズ調整時」。
オプション	装置によるグラフの削除	装置または製品への接続が中断された場合にこの選択肢があります： グラフを保持または削除します。
	ライセンスマネージャ...	<ul style="list-style-type: none"> <li>割り当てられたライセンスとアクティブ化された機能を表示します。</li> <li>追加のライセンスを追加します。</li> </ul>
	パスワードマネージャ...	<ul style="list-style-type: none"> <li>パスワード保護を有効または無効にします。</li> <li>設定を保護するためのパスワードを設定します。</li> </ul>
ツール	ログブックファイルを開く	保存された装置ログブックを開きます

メニュー	コマンドまたはサブメニュー	コマンドまたは説明
ヘルプ	ヘルプ	本取扱説明書を表示します。
	ドライバーバージョン	インストールされている装置または製品、ドライバーのバージョン、サポートされているタイプを表示します。
	情報..	バージョン番号とメーカーのアドレスを表示します。

表 2:           メニューの説明



コマンドの詳細については、[„8 Bedienung und Funktionen“](#)の章を参照してください。

## 5.4 ナビゲーション領域

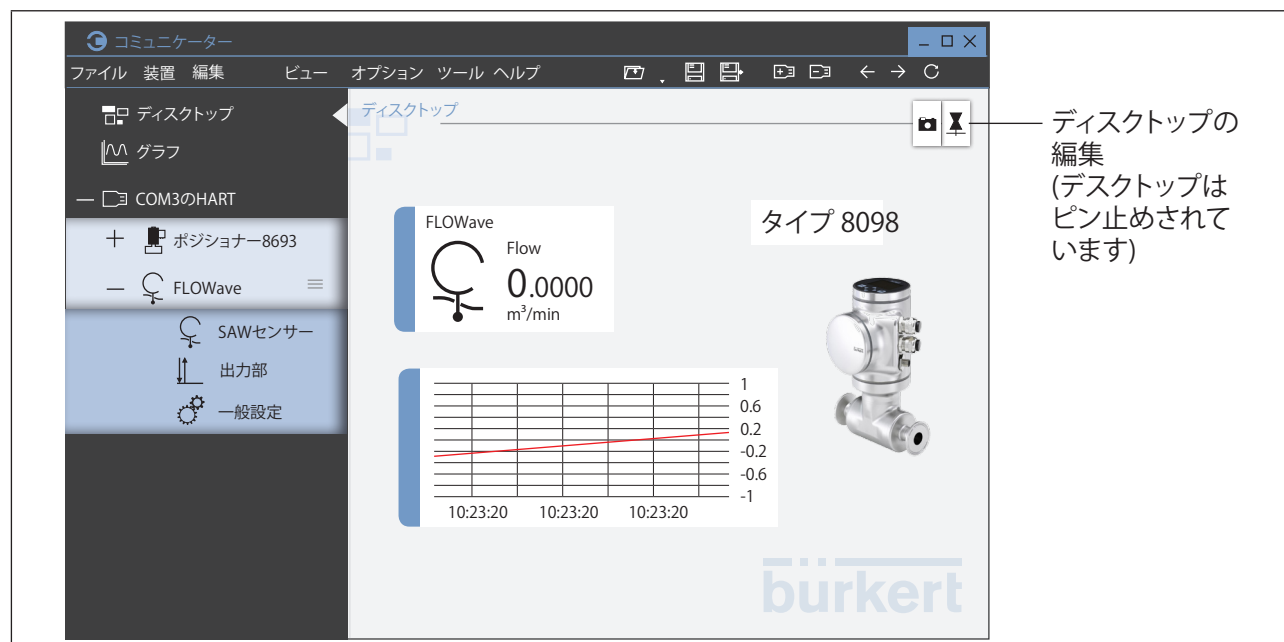
ナビゲーション領域では、ユーザーは適用範囲のさまざまなコンテンツを選択できます：



挿図 3: ナビゲーション領域(例)

## 5.4.1 デスクトップ : 形成エリア

デスクトップは、ユーザーがウィジェット、グラフィックエレメントおよびテキストを自由に形成することを可能にします。

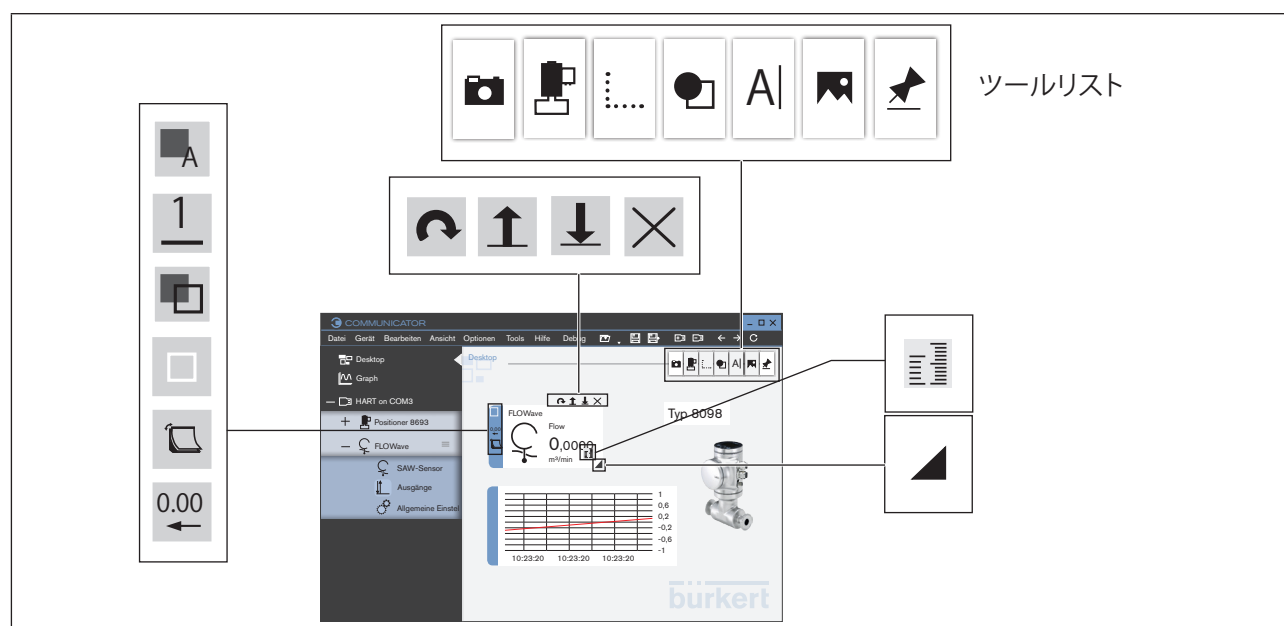


挿図 4: デスクトップ(例)

















ユーザーはツールバーを使用してグラフィックエレメント、テキストボックスおよび画像を適用範囲に貼り付けることができます。



機能の詳細については、[„8.4 Desktop gestalten“](#)の章を参照してください。



挿図 5: ツールリスト

シンボル	コマンドまたは説明
<b>ツールリスト</b>	
	ツールバーを開きます(デスクトップはピン止めされています)。
	ツールバーを閉じて、デスクトップをピン止めします。
	スクリーンショットをクリップボードにコピーします。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>ファイルからグラフィックまたは画像を貼り付けます。</li> <li>装置の画像を貼り付けます。</li> </ul>
	テキストボックスを貼り付けます。
	フォームを貼り付けます。
	空のグラフを貼り付けます。
	プロセス値をウィジェットとして貼り付けます。
<b>表示シンボル</b>	
	エレメントを回します。
	エレメントを前景で配置します。
	エレメントを背景で配置します。
	デスクトップからエレメントを削除します。
	色の輪郭、図形とテキストの範囲を変更します。
	塗りつぶしの色や輪郭の色を変更します。
	塗りの色を変更します。
	輪郭の太さを変更します。





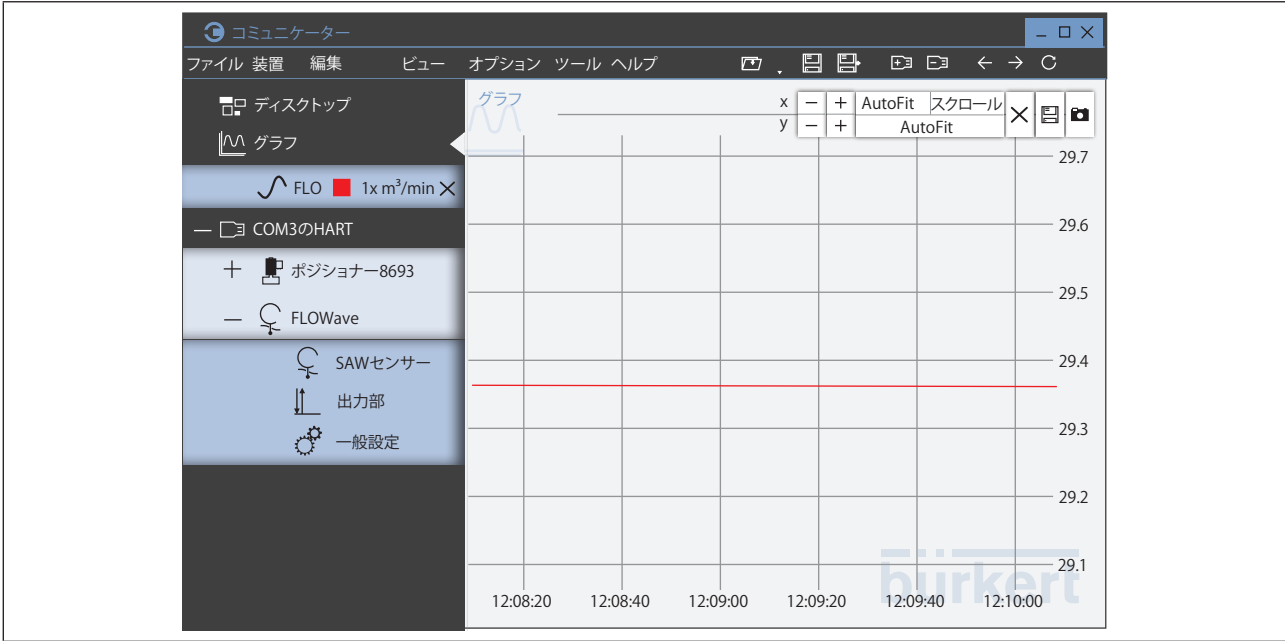
	表示スタイルを変更します。
	表示精度を変更します。
	エレメントを拡大または縮小します。
	測定量の単位を変更します。

表 3: ツールバーと表示シンボル



## 5.4.2 グラフ: 値のグラフィック表示

装置のプロセス値をグラフに表示することができます。



挿図 6: グラフ(例)






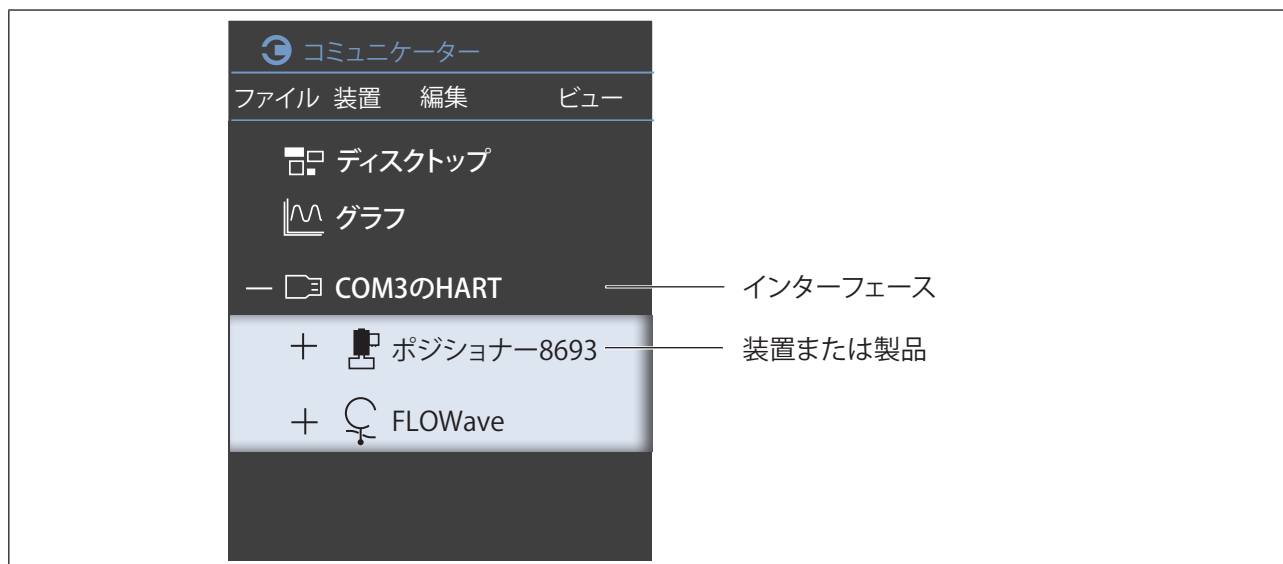
シンボル	コマンドまたは説明
	軸のスケールリングを増やします。
	軸のスケールリングを減らします。
	グラフから現時点までの値を削除します。
	グラフをデータベースに保存します。
	グラフのスクリーンショットをクリップボードに保存します。
AutoFit	グラフはビューに調整されます(軸はスケールリングを変更します)。
スクロール	グラフをスクロールします。 x軸に対してのみ可能です。

表 4: グラフの機能

 機能の詳細については、[„8.5 Graph“](#)の章を参照してください。

### 5.4.3 インターフェース















インターフェースはユーザーが追加する必要があります。インターフェースに接続された装置または製品は、ナビゲーション領域の装置または製品ごとのサブフォルダに自動的に追加されます。



挿図 7: インターフェース(例)

### 5.4.4 装置または製品

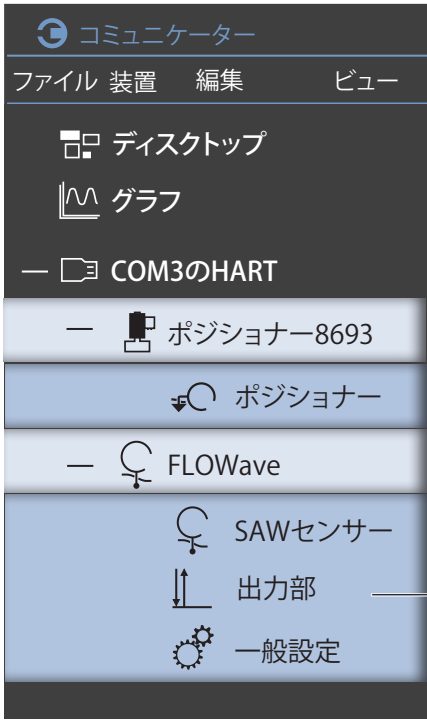






個々の装置または製品は、ナビゲーション領域に追加されたインターフェース下のフォルダ構造内にあります。

 コミュニケーター ファイル 装置 編集 ビュー	シンボル	機能または説明
 デスクトップ  グラフ  COM3のHART		装置
+  ポジショナー-8693		センサー
+  FLOWave		ゲートウェイ
		入力および/または出力
		コントローラ
		ディスプレイ
		アクチュエーター
		アクセサリ

挿図 8: 装置または製品

5.4.5 構成

構成は、ナビゲーション領域の装置または製品の下のフォルダ構造内にあります。構成は、装置または製品によって異なります。

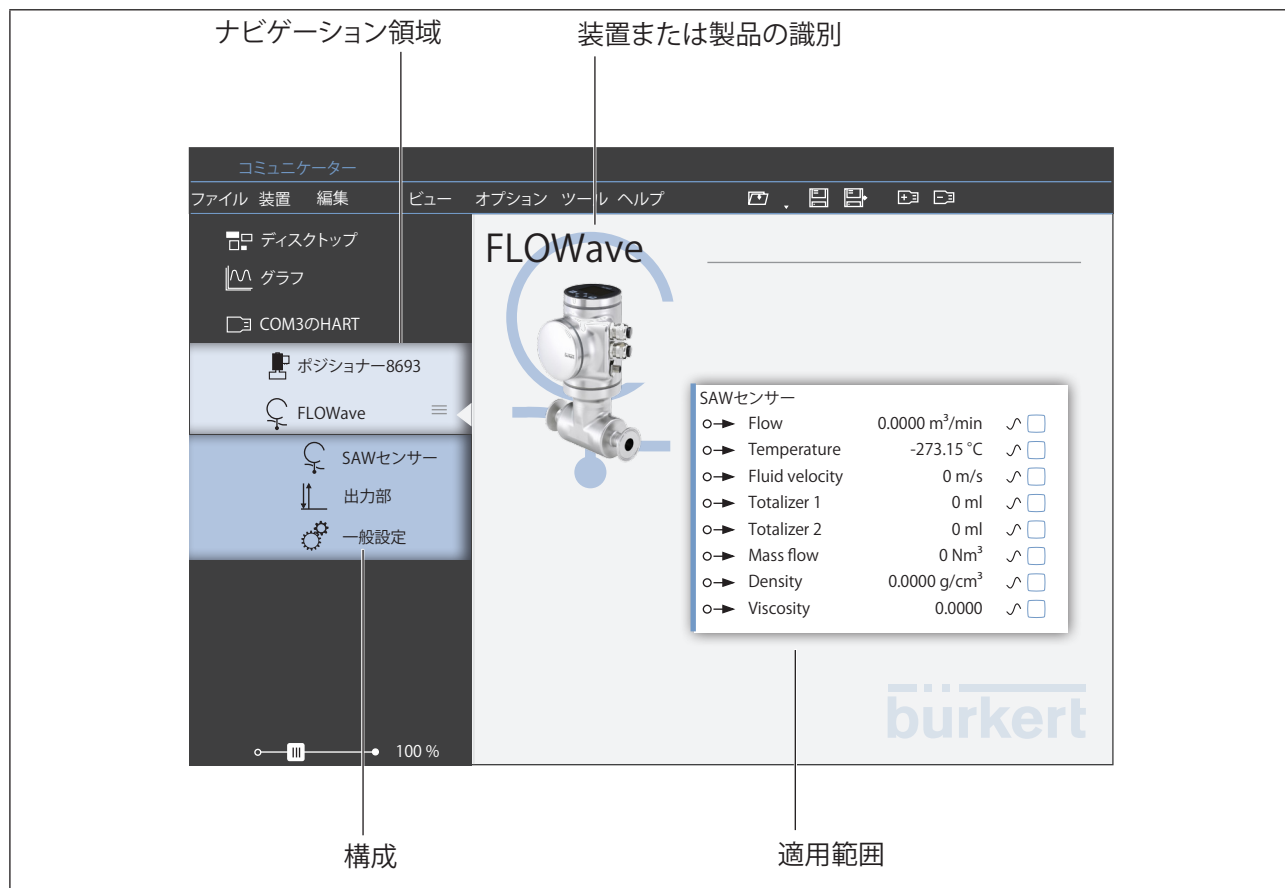
 <div>構成</div>	シンボル	機能または説明
		アクチュエーター
		センサー
		入力および/または出力
		一般設定
		コントローラ
		ゲートウェイ

挿図 9: 構成

## 5.5 適用範囲

### 5.5.1 装置または製品

ナビゲーション領域で装置または製品が選択されている場合、この装置または製品のパラメータと値が適用範囲内に表示されます。



挿図 10: 装置または製品(例)

シンボル	機能または説明
	パラメータ
	出力値
	入力値

### 5.5.2 構成

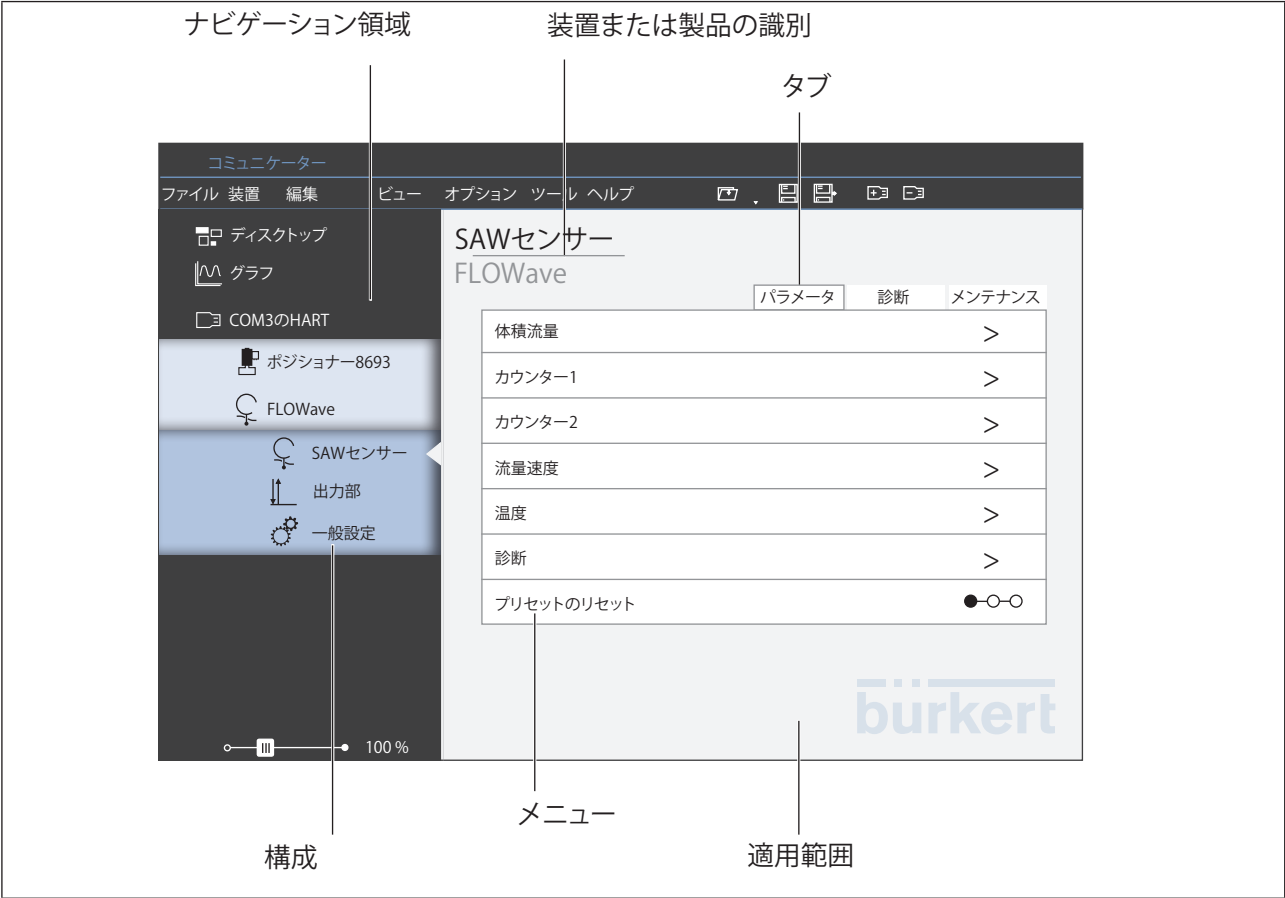
ナビゲーション領域で装置または製品の構成が選択されている場合、対応するメニューが適用範囲内の[パラメータ]、[診断]および[メンテナンス]タブに表示されます。

タブを使用すると、ユーザーは適用範囲内の個々のタブを切り替えることができます。



表示されるメニューやユーザーによって加えられた変更は、次の項目によって異なります：

- ・ パスワード保護が有効または無効です。
- ・ パスワード保護が有効になっている場合は、アクティブユーザーレベルです。



挿図 11: 適用範囲、構成、タブ(例)

シンボル	機能または説明
>	サブメニューあり
●○●○	入力アシスタント
<	戻る
標準 ▼	ドロップダウンリスト
<div>Flow 破壊 適用</div>	テキストボックス

### 5.5.3 [パラメータ]タブ

SAWセンサー FLOWave	
	パラメータ    診断    メンテナンス
体積流量	>
カウンター1	>

[パラメータ]タブには、選択した構成の設定が表示されます。  
ユーザーはメニューで設定を行うことができます。



適用範囲の表示と内容は、装置または製品によって異なります。

### 5.5.4 [診断]タブ

SAWセンサー FLOWave	
	パラメータ    診断    メンテナンス
装置	>
プロセス	>

[診断]タブには、選択した構成の情報、設定または値が表示されます(バス情報、装置情報またはステータス情報等)。

ここではユーザーは設定を行うことができません。



適用範囲の表示と内容は、装置または製品によって異なります。

### 5.5.5 [メンテナンス]タブ

SAWセンサー FLOWave	
	パラメータ    診断    メンテナンス
装置情報	>
流れ方向	標準

[メンテナンス]タブには、選択した構成の追加設定が表示されます。  
ユーザーは、メニューや入力アシスタントで設定を変更することができます。



適用範囲の表示と内容は、装置または製品によって異なります。

## 6 ソフトウェアのインストール

### 6.1 システム要求

#### ハードウェア

プロセッサ:	デュアルコアプロセッサ
メモリ:	RAM 1 GB以上、
ハードディスク:	空き領域 250MB以上、
グラフィックの解像度:	1024 x 768以上、

#### ソフトウェア

Windows 7オペレーティングシステム:  
Microsoft .NET Framework 4.0

インストールには管理者権限が必要です。

### 6.2 コミュニケーターのインストール



すべてのインストールプログラムは、BürkertのホームページやCDで利用できます。



インストールする前に、実行中のプログラムをすべて終了してください。

Windows 7オペレーティングシステム:



コミュニケーターのインストールの前提条件は、ソフトウェアプラットフォームが存在することです: Microsoft .NET Framework 4.0以上。

「Microsoft .NET Framework 4.0」がターゲットコンピュータにまだ存在しない場合の手順:

→ NET 4.5.1のダウンロードは、<http://go.microsoft.com/?linkid=9831986>。

→ ファイルを起動します。

コミュニケーターセットアップの手順:

→ コミュニケーターセットアップが含まれているインストールファイルをダウンロードします。

→ インストールファイルを起動し、指示に従います。

## 7 プロジェクトの作成

この章では、1プロジェクトを作成して保存する方法について説明します。

手順(短縮形):



→ コミュニケーターを起動します。



→ インターフェースを追加します。

→ 装置または製品を設定します。




→ プロジェクトを保存します。

### 7.1 コミュニケーターの起動

→ コミュニケーターを起動します(例えばWindowsのスタートメニューから)。

### 7.2 インターフェースの追加

シンボル	メニュー	コマンドまたは説明
	ファイル/インターフェースの追加...	新しいインターフェースを追加します。



→ をクリックします。

インターフェースを選択するためのダイアログボックスが表示され、さらに設定するためのダイアログボックスが表示されます:

→ インターフェースを選択します。

→ 設定を行います。

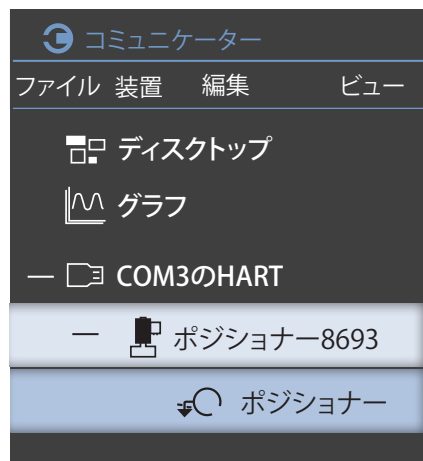
✓ インターフェースと関連する装置と製品は、ナビゲーション領域に転送されます。



インターフェースのダイアログボックス:



ナビゲーション領域への受入れ(例):

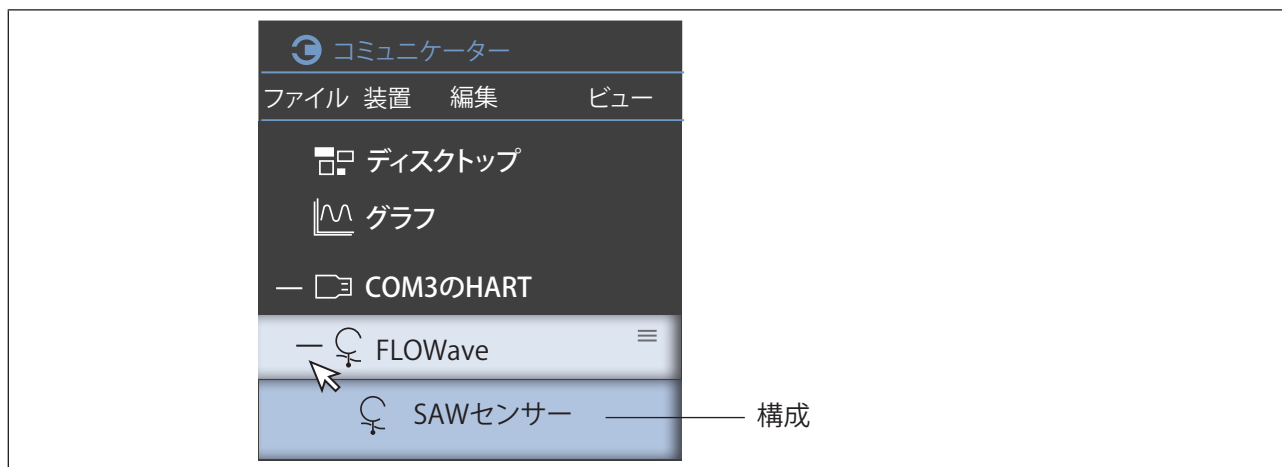


挿図 12: インターフェースの追加

次のインターフェースが可能です:

- bÜSスティックによる接続:  
BürkertのbÜSスティックを介してBÜSネットワークに直接アクセスしてください。
- ネットワークを介したbÜS:  
ネットワークを介して別のコンピュータのUSBメモリにアクセスします。
- Hartアダプタ:  
USB HARTアダプタを介してシリアルポート装備装置にアクセスします。

## 7.3 装置または製品の設定



挿図 13: 設定

→ ナビゲーション領域で装置または製品を選択します(マウスポインタでクリック)。

✓ フォルダ構造が開き、構成が表示されます。

→ 構成を選択します。

→ 適用範囲で設定を行います。



設定は装置または製品によって異なります。設定については、コミュニケーターの装置や製品のソフトウェア説明書またはインターネットの各取扱説明書を参照してください。

## 7.4 またはでのプロジェクト保存

シンボル	メニュー	コマンドまたは説明
	ファイル/プロジェクトの保存	現在のプロジェクトを保存します。
	ファイル/プロジェクトの保存先...	現在のプロジェクトを保存します。ユーザーが保管場所を指定します。

### 保存

→ をクリックします。

✓ 現在のプロジェクトが保存されます。

注記: プロジェクトの最初の保存では機能がアクティブではありません。

### 保存先

現在のプロジェクトを保存します。ユーザーが保管場所を選択します。

→ をクリックします。

ダイアログボックスが表示されます:



→ 保管場所を選択します。

注記: ファイルタイプは「Bürkertコミュニケータープロジェクト(\*.bcproj)」です。

## 8 操作および機能

### 8.1 プロジェクトの編集

#### 8.1.1 プロジェクトの開閉

シンボル	メニュー	コマンドまたは説明
	ファイル/プロジェクトを開く...	既存のプロジェクトを開きます。
	-	最近開いたプロジェクトのドロップダウンリストを開きます。
-	ファイル/閉じる	プロジェクトとコミュニケーターを閉じます。

##### プロジェクトを開く

→  をクリックします。

ダイアログボックスが表示されます：

→ 対応するドライブ、フォルダまたは保存場所を選択します(開くプロジェクトを含む)。

→  プロジェクトを開きます。

注記：ファイルタイプは「Bürkertコミュニケータープロジェクト(\*.bcproj)」です。

または：

→  をクリックします。

最近開いたプロジェクトのドロップダウンリストを開きます。

→ ドロップダウンリストからプロジェクトを選択します。

または：

→ Windowsエクスプローラで開くプロジェクトをダブルクリックします .

##### プロジェクトを閉じる


→ メニューバーの **ファイル** -----> **を閉じる** をクリックします。

✓ プロジェクトとコミュニケーターが閉じます。



ユーザーが変更を加えると、これらの変更を保存または破棄するためのダイアログボックスが表示されます。

## 8.1.2 インターフェースの追加または切断

シンボル	メニュー	コマンドまたは説明
	ファイル/インターフェースの追加...	新しいインターフェースを追加します。
	ファイル/インターフェースの切断	インターフェースを切断します。

### インターフェースの追加

→  をクリックします。

インターフェースを選択するためのダイアログボックスが表示され、さらに設定するためのダイアログボックスが表示されます：

→ インターフェースを選択します。

→ 設定を行います。

✓ インターフェースと関連する装置と製品は、ナビゲーション領域に転送されます。

### インターフェースの切断

→ ナビゲーション領域でインターフェースを選択します(マウスポインタでクリック)。

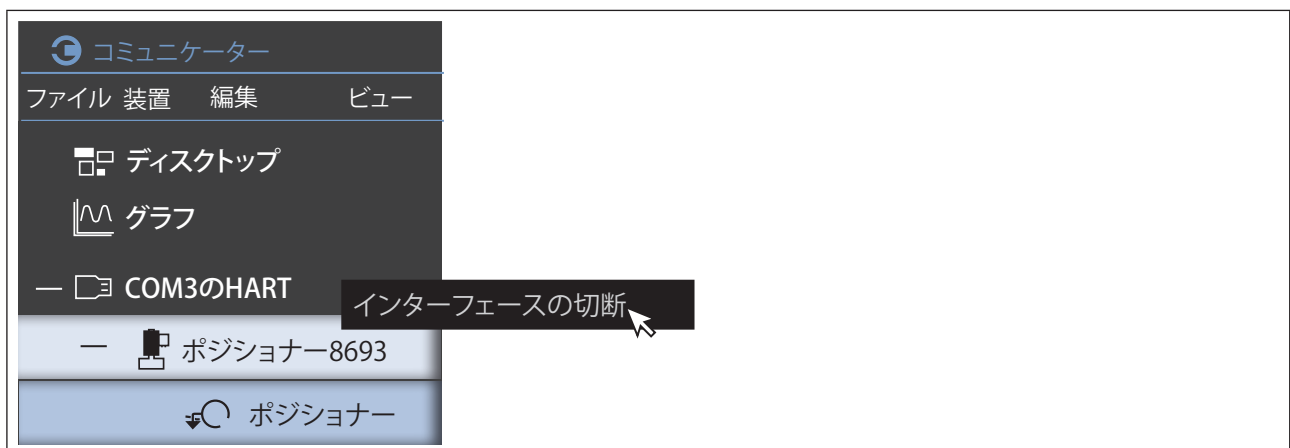
→  をクリックします。

✓ 現在のインターフェースはナビゲーション領域から切断されます。

または：


→ ナビゲーション領域でインターフェースを右クリックします。

→ コンテキストメニューで **インターフェースの切断** をクリックします。



挿図 14: インターフェース、コンテキストメニュー

## 8.1.3 データの読み込み

シンボル	メニュー	コマンドまたは説明
	ビュー/更新	装置または製品の現在の値は、コミュニケーターによって読み込まれます。

#### 8.1.4 装置構成のバックアップまたは復元

シンボル	メニュー	コマンド/説明
	装置/装置構成のバックアップまたは復元	装置構成のエクスポート、インポート、コピーまたは上書きが可能です。

メニューバーで:

→ ナビゲーション領域で装置または製品をクリックします。

装置 -----> 装置構成のバックアップまたは復元。

またはコンテキストメニューで:

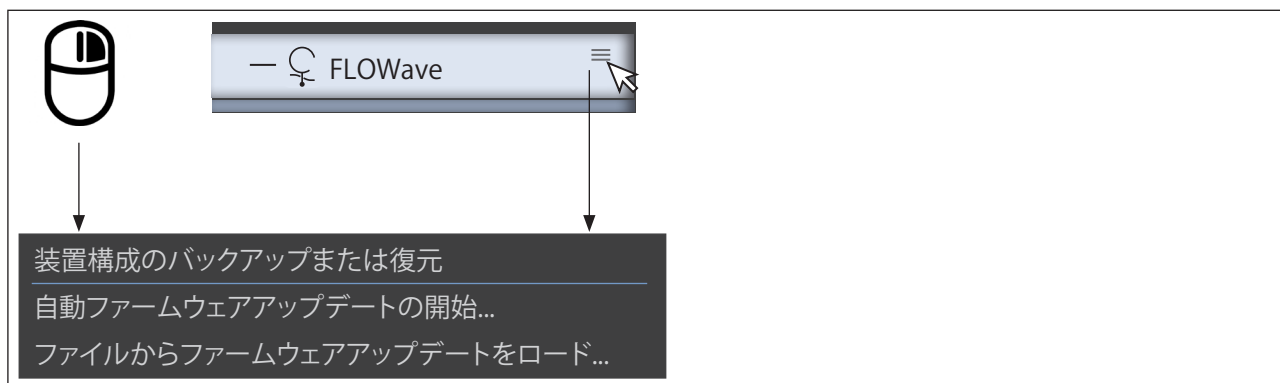
→ ナビゲーション領域で装置または製品をクリックします。

→ ≡ をクリックします。

または:

→ ナビゲーション領域で装置または製品を右クリックします。

次のコンテキストメニューが表示されます:



挿図 15: 装置または製品のコンテキストメニュー

→ 装置構成のバックアップまたは復元をクリックします。

☑ダイアログボックスが表示されます(ウィザード)。

→ 機能を選択します:

- バックアップ                      装置構成のエクスポート
- 復元                      装置構成のインポート
- クローン                      装置構成のコピー
- 上書き                      装置構成の上書き

機能	説明	
<b>バックアップ</b>	<p>装置構成のエクスポート</p> <p>装置構成をファイルにバックアップします。</p>	<p>入力アシスタントが表示されます：</p> <p>→ 装置構成の保存場所と名前を選択します。</p> <p>→ <b>保存する</b>。</p> <p>→ <b>Ok</b>。</p> <p>✔ 装置構成はファイルに保存されます。</p> <p>注記：ファイルタイプは「Device Backup File (*.load)」です</p>
<b>復元</b>	<p>装置構成をインポートします。</p> <p>装置構成をファイルから装置または製品にインポートします。</p> <p>注記：装置または製品のID番号およびシリアル番号は、装置構成で一致する必要があります。</p>	<p>入力アシスタントが表示されます：</p> <p>→ 保存場所と装置構成を選択します。</p> <p>→ <b>開く</b>。</p> <p>→ 値を選択します。</p> <p>→ <b>Ok</b>。</p> <p>✔ 装置構成は装置または製品にインポートされます。</p> <p>注記：ファイルタイプは「Device Backup File (*.load)」です</p>
<b>クローン</b>	<p>装置構成をコピーします。</p> <p>装置構成をファイルから装置または製品にインポートします。</p> <p>注記：装置または製品のID番号は、装置構成で一致する必要があります。</p>	<p>入力アシスタントが表示されます：</p> <p>→ 保存場所と装置構成を選択します。</p> <p>→ <b>開く</b>。</p> <p>→ <b>キーボードによるデータ入力</b>： ユーザーは、装置または製品の名前、場所および説明を入力できます。 または： <b>保存したファイルのデータ</b>： 名前、場所および説明はファイルから引き継がれます。</p> <p>→ 値を選択します。</p> <p>→ <b>Ok</b>。</p> <p>✔ 装置構成は装置または製品にインポートされます。</p>
<b>上書き</b>	<p>装置構成を上書きします。</p> <p>装置構成をファイルから装置または製品にインポートします。</p> <p>注記：データは検証なしでインポートされます。</p>	<p>入力アシスタントが表示されます：</p> <p>→ サービスのパスワードを要求します。</p>

表 5: 装置構成のバックアップまたは復元。

## 8.2 コミュニケーターでの設定

### 8.2.1 言語の設定

シンボル	メニュー	コマンドまたは説明
	ビュー/言語	メニュー、ツールバー、ナビゲーション領域および適用範囲でのデフォルト言語選択。

注記: 指定した設定にはチェックマークが付いています。  
**自動**を選択すると、オペレーティングシステムの言語が使用されます。

言語の設定:

→ **ビュー** -----> **言語**。

→ 言語を選択します。

✓ チェックマークが入ります。



言語の変更は、コミュニケーターの再起動後にのみ有効です。

→ コミュニケーターを終了して再起動します。

✓ 言語が設定されます。

### 8.2.2 単位システムと単位の選択

シンボル	メニュー	コマンドまたは説明
	ビュー/単位システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>単位システムの選択(メートル法、米国慣用単位または帝国単位)</li> <li>個々の単位選択</li> <li>単位サイズ選択(m、mm、...)</li> </ul>

注記: 指定した設定にはチェックマークが付いています。

単位システムの設定:

→ **ビュー** -----> **単位システム**。

→ 単位システムを選択します。

✓ チェックマークが入ります。

測定量の単位(距離、温度、電流...)に従ってデフォルト値に設定されています(チェックマークが付いています)。



## 個々の単位または単位サイズの設定

! 多くのウィジェットでは、単位を直接変更することもできます。(説明は„[Einheiten oder Größe der Einheit der Prozesswerte in Widgets ändern](#)“を参照)。

→ **ビュー** -----> **単位システム**。


→ 測定量をクリックします。

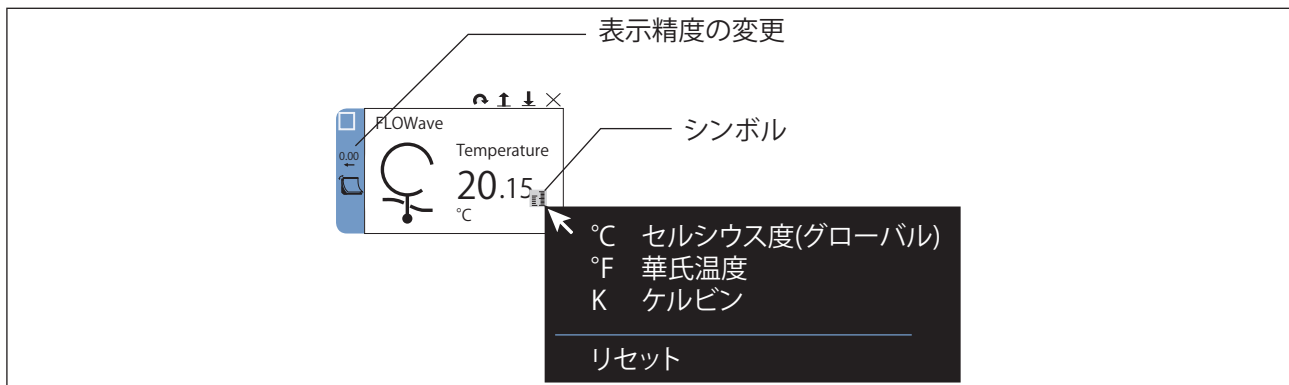
定義された単位および単位の大きさには、チェックマークが付いています(例えば、以前に選択した単位システムで)。

→ 単位と単位のサイズをクリックして有効または無効にします(チェックマークが入るまたは削除されます)。

- !
- 測定量の変更により、単位システム前のチェックマーク(以前に設定)が削除されます。
  - 測定量に変更された後に単位システムが再度選択されると、単位のすべての単位またはサイズが単位システムのデフォルト値にリセットされます。

## ウィジェット内のプロセス値の単位サイズまたは単位の変更

多くのウィジェットには、単位のサイズや単位をコンテキストメニューで直接変更することができるシンボル  があります。



挿図 16: ウィジェットでの単位選択

→ マウスポインタをウィジェットに配置します。

シンボル  が表示されます。

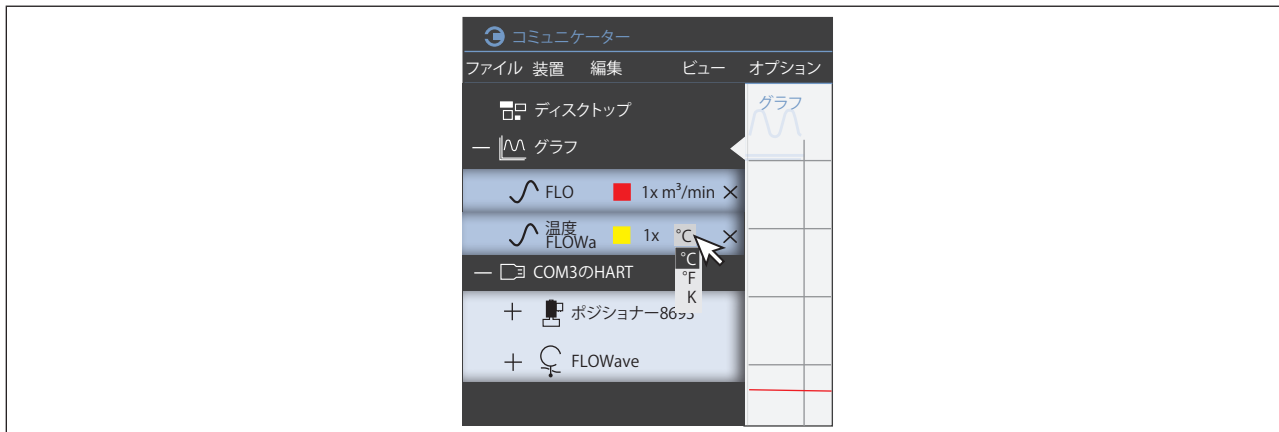
→  をクリックします。

→ 単位を選択します(単位の前にチェックマークが入ります)。

! ウィジェット内で単位サイズまたは単位を変更しても、単位の設定には影響を及ぼしません。  
コンテキストメニューの「リセット」を使用すると、単位システムまたは測定量の範囲で選択された単位が設定されます。

## ナビゲーション領域内のグラフプロセス値の単位サイズまたは単位変更

グラフのプロセス値の単位または単位サイズは、ナビゲーション領域のドロップダウンリストでユーザーが変更することができます。



挿図 17: ナビゲーション領域での単位選択

- 単位をクリックします。
- ドロップダウンリストで単位を選択します。

### 8.2.3 接続中断時のグラフ保持または削除

シンボル	メニュー	コマンドまたは説明
	装置によるオプション/グラフの削除	装置または製品への接続が中断された場合にこの選択肢があります: グラフを保持または削除します。

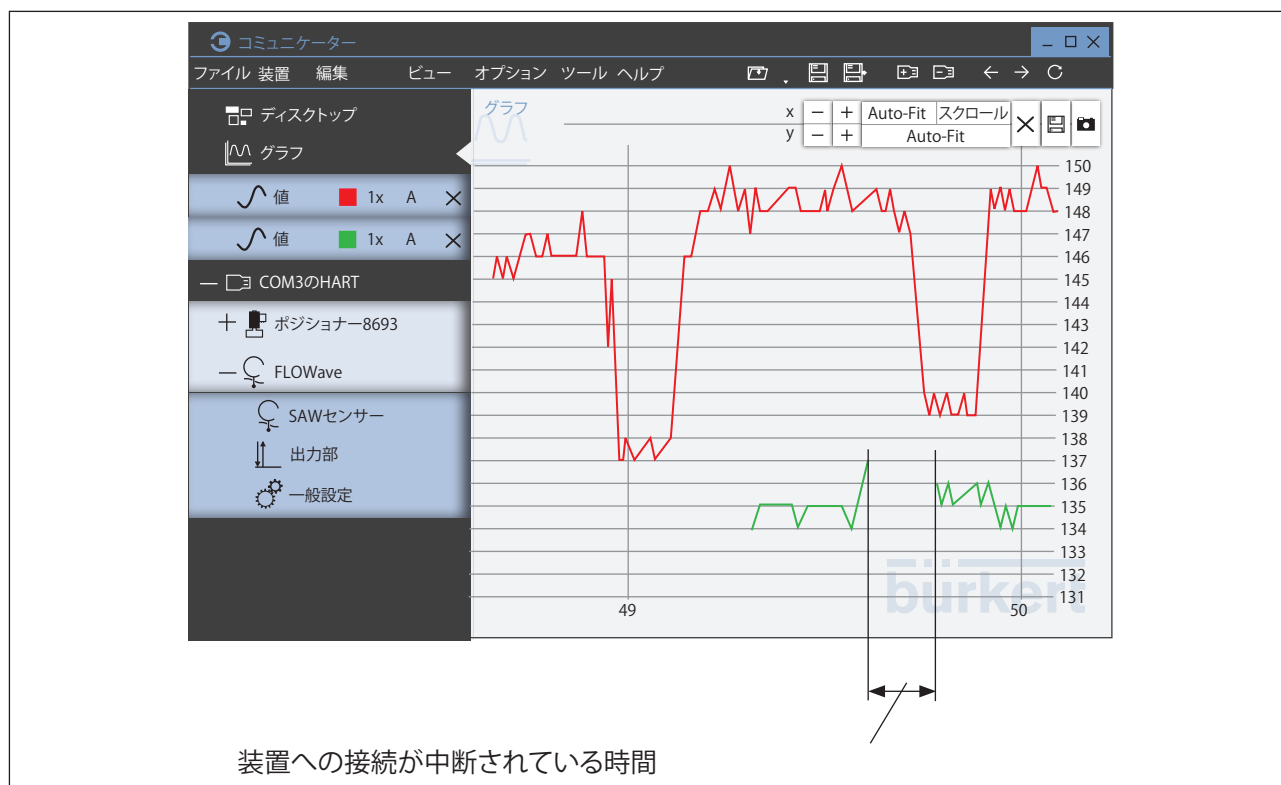
注記: 指定した設定にはチェックマークが付いています。

装置または製品への接続が中断された場合はグラフを削除します(機能にはチェックマークが付いていません)。  
„Bild 18: Graphen mit Gerät entfernen“の例を参照:

- **オプション**をクリックします。
- **装置によるグラフの削除**をクリックします(チェックマークが入ります)。

装置または製品への接続が中断された場合はグラフを保持します(機能にはチェックマークが付いています):

- **オプション**をクリックします。
- **装置によるグラフの削除**をクリックします(チェックマークは削除されます)。



挿図 18: 装置によるグラフの削除

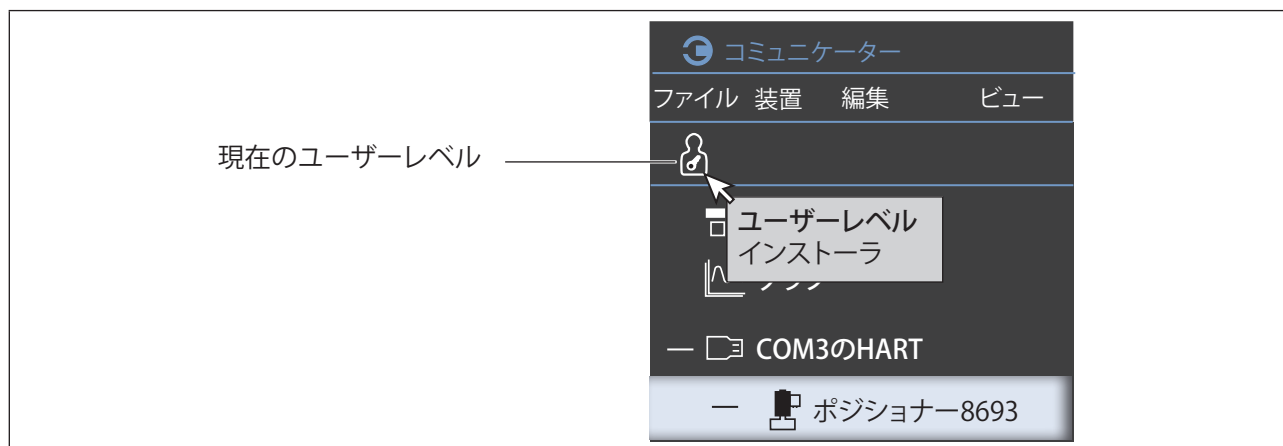
## 8.2.4 ライセンスの管理

シンボル	メニュー	コマンドまたは説明
	オプション/ライセンスマネージャ...	割り当てられたライセンスとアクティブ化された機能を表示します。 • 追加のライセンスを追加します。

## 8.2.5 有効または無効のパスワード保護でパスワード設定

シンボル	メニュー	コマンドまたは説明
	オプション/パスワードマネージャ...	設定を保護するためのパスワードを設定します。

コミュニケーターをインストールすると、パスワード保護は無効になります。設定されたユーザーレベルは、インストーラのレベルです。



挿図 19: 現在のユーザーレベル

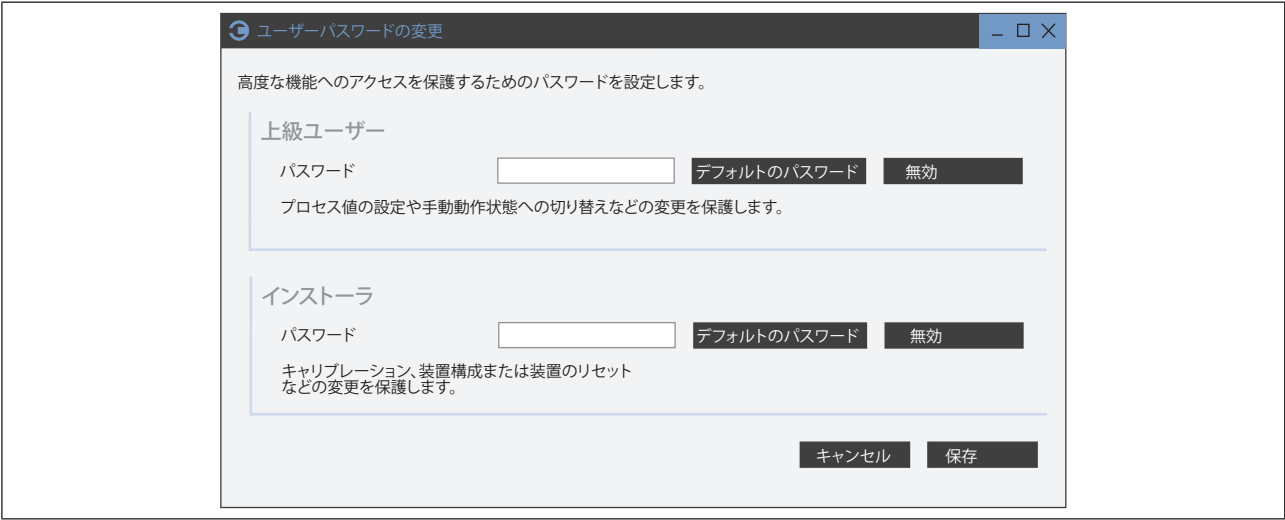
コミュニケーター起動時のユーザーレベル:

パスワード設定済み	起動時に設定されたユーザーレベル
パスワード設定なし	インストーラ
インストーラ	上級ユーザー
上級ユーザー	ユーザー

表 6: コミュニケーター起動時のユーザーレベル

ユーザーレベルは、現在のユーザーレベルのシンボルをクリックすることによって変更できます。

パスワードマネージャ：  
→ オプションをクリックします。  
→ パスワードマネージャをクリックします



挿図 20:      パスワードマネージャ

パスワードマネージャでは、パスワードによってユーザー権限が許可されます：





シンボル	ユーザーレベル	説明
	ユーザー	標準ユーザー、読み取り権限、いくつかの値を変更することができます パスワードなし
	上級ユーザー	特定の値を変更して簡単なキャリブレーションを実行できます。 デフォルトのパスワード：5678(インストーラとして変更することができます)
	インストーラ	コミュニケーターを操作するためのすべての権限を持っています。 デフォルトのパスワード：1946(インストーラとして変更することができます)
	Bürkert	Bürkertスタッフのみ。

表 7:          ユーザーレベル

## 8.3 情報とヘルプ

### 8.3.1 ヘルプ

シンボル	メニュー	コマンドまたは説明
	ヘルプ/ヘルプ	本取扱説明書を表示します。

### 8.3.2 ドライバーバージョン

シンボル	メニュー	コマンドまたは説明
	ヘルプ/ドライバーバージョン	インストールされている装置または製品、ドライバーのバージョン、サポートされているタイプを表示します。

### 8.3.3 ソフトウェア情報およびメーカーアドレス

シンボル	メニュー	コマンドまたは説明
	ヘルプ/情報...	バージョン番号とメーカーのアドレスを表示します

### 8.3.4 ログブックファイル

シンボル	メニュー	コマンドまたは説明
	ツール/ログブックファイルを開く	ファイルが開きます....

## 8.4 büSネットワーク構成

インターフェースを介して接続されたすべての装置または製品とそのbüSネットワーク構成は、コミュニケーターのbüSマップに表示されます。

ナビゲーション領域でインターフェースが選択されている場合は、次のタブが表示されます：

- **概要**： インタフェースに接続されているすべての装置と製品を現在の値で表示します。
- **büSマップ**： インタフェースに接続されているすべての装置と製品をそれぞれの入出力とbüSネットワーク構成で表示します。  
ユーザーはここでbüSネットワーク構成を編集できます。

概要を表示：

→  ナビゲーション領域でインターフェースを選択します。

✓ 適用範囲には、インターフェースに接続されているすべての装置と製品が表示されます。



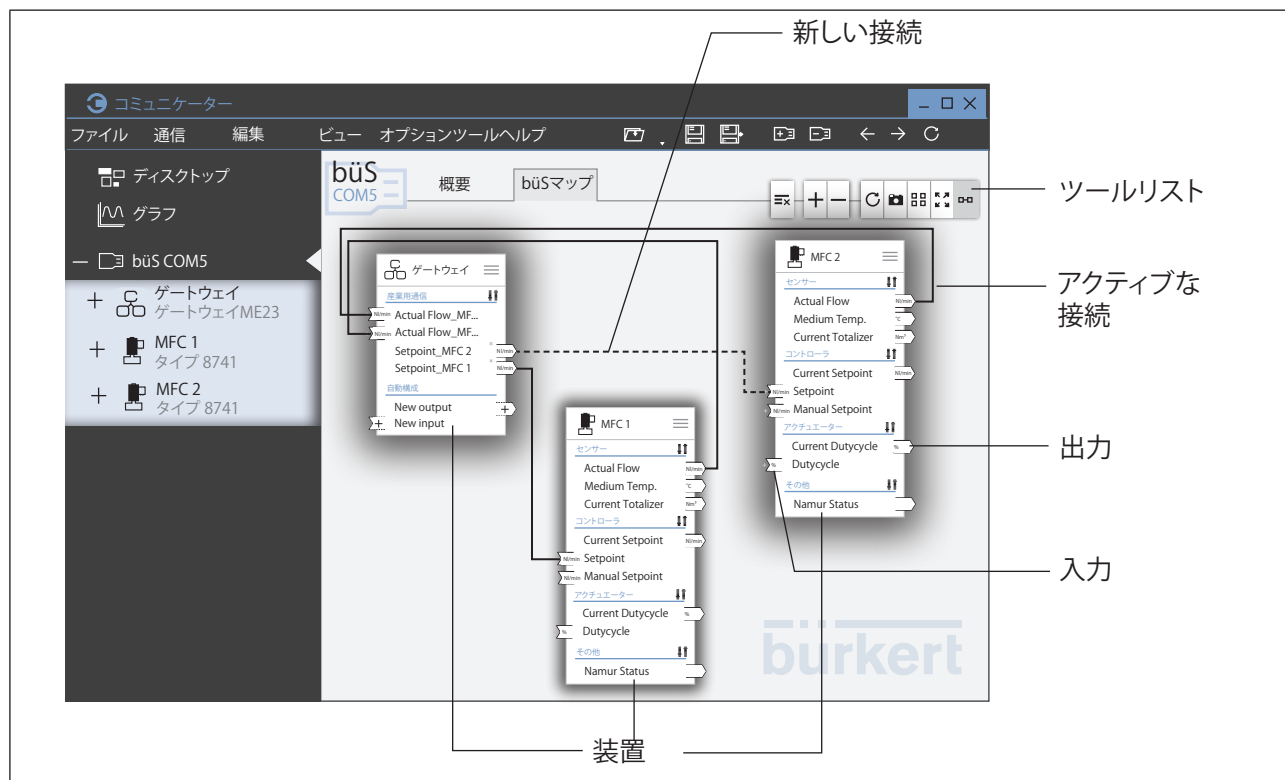
挿図 21: 概要

### 8.4.1 büSマップ

→  ナビゲーション領域でインターフェースを選択します。

→ **büSマップ** タブを有効にします。

✓ 適用範囲には、インターフェースに接続されているすべての装置または製品とbüSネットワーク構成が表示されます。



挿図 22: bUSマップ

シンボル	コマンドまたは説明
	ラインとの接続を表示または非表示にします。
	AutoFit bUSマップがビュー(適用範囲)に調整されます。
	自動レイアウト 装置または製品は自動的に配置されます。
	スクリーンショットをファイルに保存します。
	bUSマップをリロードします。
	ビューを拡大します。
	ビューを縮小します。
	すべての接続を削除します。
	選択した接続を削除します。

表 8: ツールリスト



## 8.4.2 büSマップによるネットワーク構成の編集

büSマップへの切り替え:

→ ナビゲーション領域でインターフェースを選択します。

→ **büSマップ**タブを有効にします。

✓ 適用範囲には、インターフェースに接続されているすべての装置または製品とbüSネットワーク構成が表示されます。

可能な接続の表示:

→ マウスポインタを入力または出力に移動します。

✓ 可能な接続は青色で表示されます。

接続の確立:

オプション1:

→ ドラッグ&ドロップで接続を確立します。

✓ 接続は破線で示されています。

→ **変更の適用**をクリックします。

✓ 変更が適用され、該当する装置が再起動します。

オプション2:

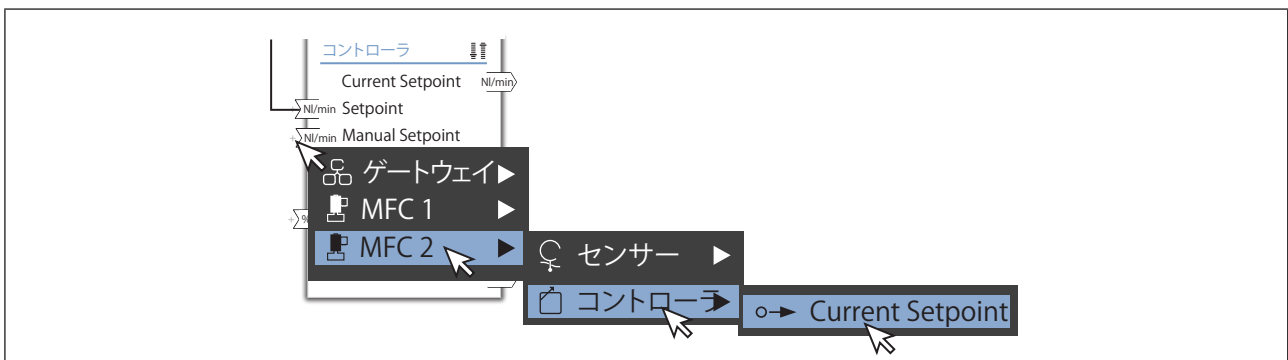
→ 入力で+をクリックします。

→ 接続を選択します。

✓ 接続は破線で示されています。

→ **変更の適用**をクリックします。


✓ 変更が適用され、該当する装置が再起動します。



挿図 23: 接続の確立、オプション2、例

**接続の削除:**

→ 接続を選択します。

→  キーボードのDelキーをクリックまたは押します。

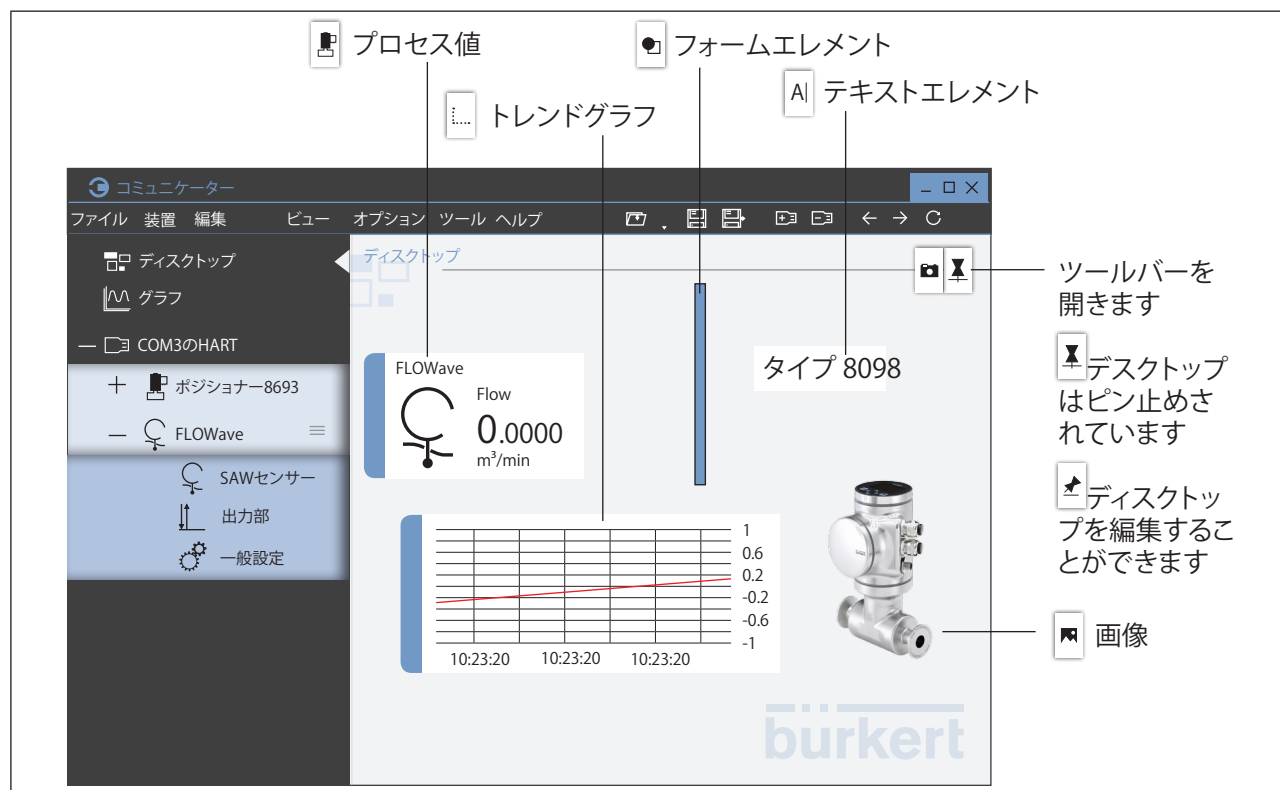
→ **変更の適用**をクリックします。

✓ 接続が削除され、該当する装置が再起動します。



ドラッグ & ドロップで装置をビュー上に配置できます。この配置は、更新中は保持されません。

## 8.5 デスクトップのレイアウト



挿図 24: デスクトップ


デスクトップは、ユーザーが自由にレイアウトすることができます。

次のエレメントが可能です：

- ウィジェットとしての装置または製品のプロセス値
- 装置または製品のプロセス値(グラフ)のグラフィック表示
- グラフィックエレメント
- テキスト

すべてのエレメントはツールバーのシンボルで作成できます。



ウィジェットやエレメントは、ツールバー  が開いている場合にのみ、デスクトップ上でユーザーをドラッグ&ドロップまたは変更することができます。

### 8.5.1 デスクトップの編集または保存(🔧または📌)

デスクトップの編集:

→ 📌をクリックします。

✔ ツールバーが開きます。

→ デスクトップをレイアウトします。

デスクトップのバックアップ:

→ 📌をクリックします。

✔ デスクトップがピン止めされ、ツールバーが閉じます。

### 8.5.2 ウィジェットとしてプロセス値のを貼り付け📋

→ 📋をクリックします。

→ 📌をクリックします。

✔ ツールバーが開きます。

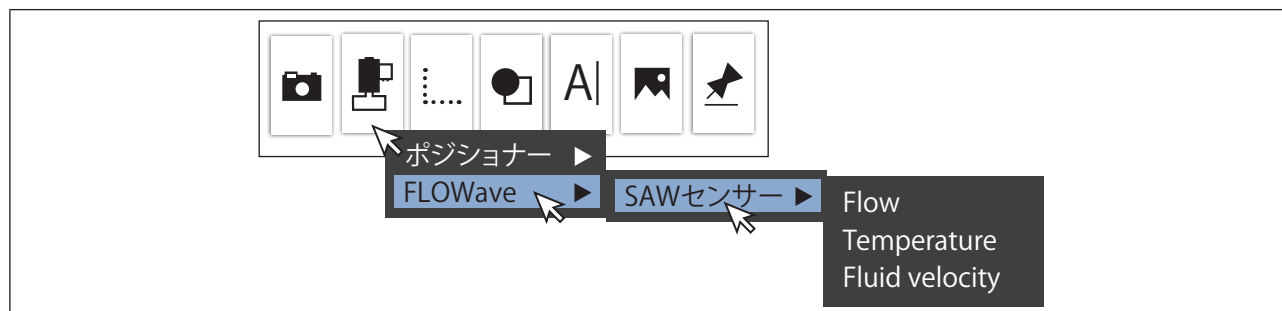
→ 📋をクリックします。

→ 装置または製品を選択します。

→ 構成を選択します。

→ プロセス値を選択します。

✔ プロセス値がデスクトップに貼り付けられます。



挿図 25: ウィジェットの貼り付け

### 8.5.3 グラフィックエレメントまたはテキストの貼り付け 、、、

→  をクリックします。

✓ ツールバーが開きます。



ファイルからのグラフィックまたは画像の貼り付け  
装置画像の貼り付け

ファイルからのグラフィックまたは画像の貼り付け:

→  をクリックします。

→ **ディスクから画像を貼り付ける...** をクリックします。

ダイアログボックスが表示されます:

→ グラフィックまたは画像が保存されている場所を選択します。

→ グラフィックまたは画像を選択します。

✓ グラフィックまたは画像がデスクトップに貼り付けられます。

装置画像の貼り付け:

→  をクリックします。

→ **装置画像の貼り付け** をクリックします。

→ 装置画像を選択します。

✓ 装置画像がデスクトップに貼り付けられます。



テキストボックスの貼り付け

→  をクリックします。

✓ テキストボックスがデスクトップに貼り付けられ、テキストカーソルが入力位置を示します。

→ テキストを入力します。



## 図の貼り付け

→  をクリックします。

✓ 空の図がデスクトップに貼り付けられます。

図の値表示:

→  をクリックします。

→ 装置または製品を選択します。

→ 構成を選択します。

→ プロセス値を選択します。

✓ プロセス値が図に表示されます。



## フォームの貼り付け

→  をクリックします。

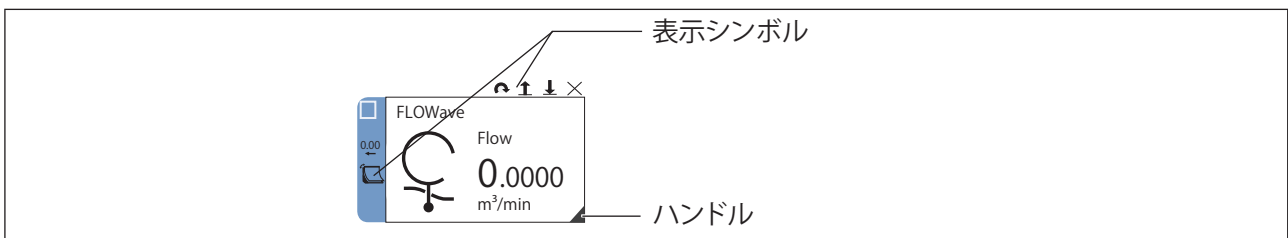
→ フォームを選択します。

✓ フォームがデスクトップに貼り付けられます。

## 8.5.4 ウィジェット、グラフィックエレメントまたはテキストの変更

→ ウィジェット、グラフィックエレメントまたはテキストをクリックします。

表示シンボルとハンドルは、ウィジェット、グラフィックエレメントまたはテキストに表示されます。



挿図 26: 表示シンボルとハンドル

## 配置とサイズの変更

→ グラフィックエレメントをクリックします。



### エレメントの拡大または縮小

→ ▲をクリックしたままでサイズを変更します。

注記: ハンドルが1つしかない場合、エレメントは比例してのみ変更できます。



### エレメントの回転

→ をクリックします。

✓ エレメントは時計回りに90°回転します。



### 前景でのエレメント調整

→ をクリックします。

✓ エレメントが前景で調整されます。



### 背景でのエレメント調整

→ をクリックします。

✓ エレメントが背景で調整されます。



### デスクトップからのエレメント削除

→ をクリックします。

✓ デスクトップからエレメントが削除されます

## 線幅とフォーム色の変更

→ フォーム(グラフィックエレメント)をクリックします。



### 輪郭の線幅変更

→ をクリックします。

→ ドロップダウンリストで線幅を選択します。

✓ エLEMENTが変更されます。



### 輪郭の色変更

→ の □ をクリックします。

→ ドロップダウンリストで色を選択します。

✓ ELEMENTが変更されます。



### 範囲の色変更

→ の ■ をクリックします。

→ ドロップダウンリストで色を選択します。

✓ ELEMENTが変更されます。



## テキストとテキストボックスの色を変更します

→ テキストボックスをクリックします。



### テキストの色変更

→  の  をクリックします。

→ ドロップダウンリストで色を選択します。

✓ エlementが変更されます。



### テキストボックスの色変更

→  の  をクリックします。

→ ドロップダウンリストで色を選択します。

✓ エlementが変更されます。

## ウィジェットの表示変更

→ ウィジェットをクリックします。



### バーの色変更

→ をクリックします。

→ ドロップダウンリストで色を選択します。

✓ エLEMENTが変更されます。



### ウィジェットのスタイル変更

→ をクリックします。

→ クリックするたびにウィジェットの表示が変わります。

✓ エLEMENTが変更されます。



### 値範囲の調整(最小/最大)

→ をクリックします。

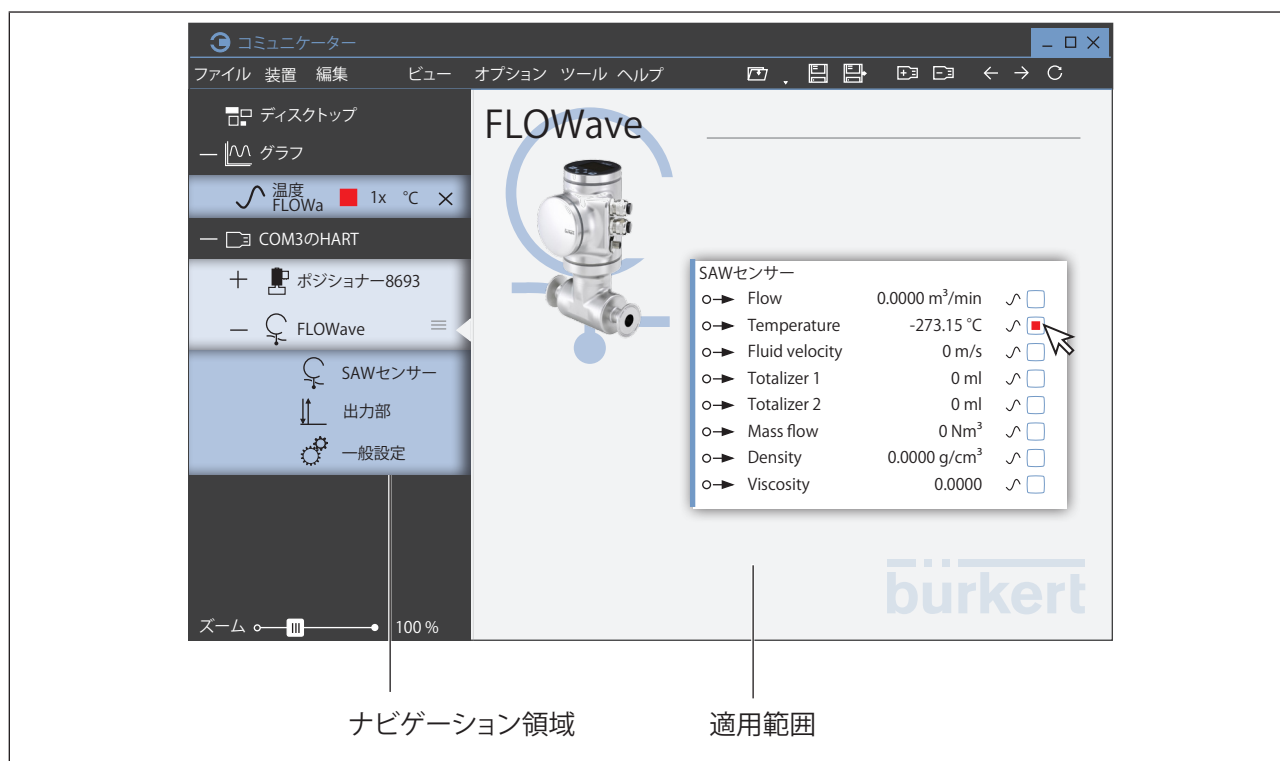
ダイアログボックスが表示されます。

→ 最小値と最大値を入力します。

→ **OK**をクリックします。

✓ 値の範囲が調整されます。

## 8.6 グラフ



挿図 27: グラフ

### 適用範囲へのグラフ表示:

→ ナビゲーション領域で装置または製品を選択します。

✓ 選択した装置または製品のプロセス値が表示されます。

→ 適用範囲でプロセス値を選択します。

✓ ボックスが強調表示され、選択したプロセス値がナビゲーション領域の[グラフ]フォルダ  に表示されます。

→  グラフをクリックします。

✓ 適用範囲内にグラフが表示されます。

### 適用範囲からのグラフ削除:

→ [グラフ]フォルダ  内の  をクリックします。

✓ 適用範囲からグラフが削除されます。

## 8.6.1 ビューへのグラフ調整

可能な機能:

- **AutoFit** ボタン
- 表示倍率の変更
- 単位サイズの変更

### ビューへのグラフ調整またはグラフとビューのスクロール

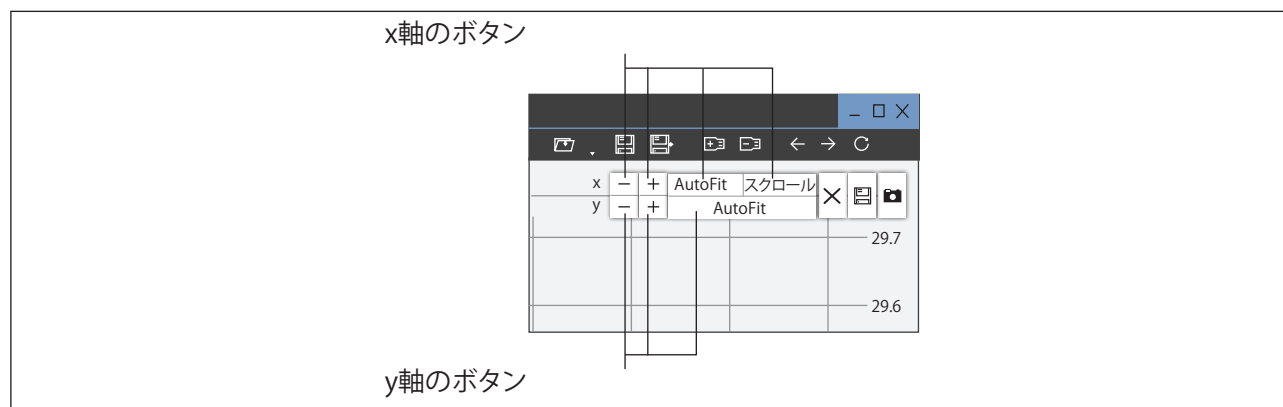
ボタンのアクティブ化による可能なビュー選択:

- AutoFit: グラフはビューに調整されます。つまり、すべての値がビューに表示されます。x軸とy軸が可能です。
- スクロール: グラフをスクロールします。つまりグラフはビュー上を移動します(時間軸は移動します)。x軸に対してのみ可能です。

その他の機能:

グラフのフリーズ:

→ すべてのボタンを無効にします。



挿図 28: グラフの調整

## 表示倍率または単位サイズでビューへのグラフ調整

1つのビューに異なる測定サイズのグラフを表示するには、次の2つの調整方法があります。

- 表示倍率を変更します。
- 単位サイズを変更します。

表示倍率の変更：

→ ナビゲーション領域で表示倍率をクリックします。

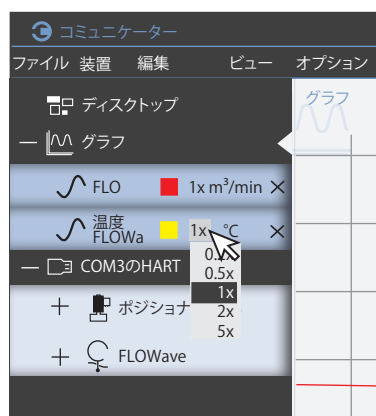
→ ドロップダウンリストで表示倍率を選択します。

単位サイズの変更：

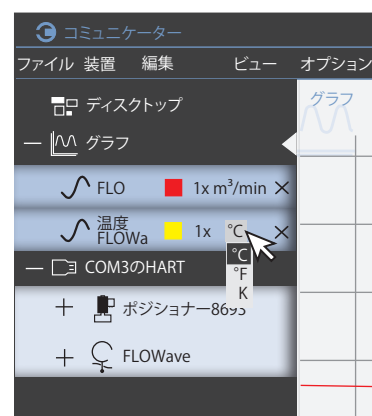
→ ナビゲーション領域で単位サイズをクリックします。

→ ドロップダウンリストで単位を選択します。

表示倍率の変更：



単位サイズの変更：



挿図 29: グラフの表示倍率または単位の変更

## 8.6.2 軸のスケーリング

x	-	+	AutoFit	スクロール	×	📄	📷
y	-	+	AutoFit				



軸のスケーリング拡大

→ 拡大ボタンをクリックします。



軸のスケーリング縮小

→ 縮小ボタンをクリックします。

## 8.6.3 グラフの色変更

→ ナビゲーション領域でカラーフィールドをクリックします。

ドロップダウンリストが開きます。

→ 色を選択します。




挿図 30: グラフの色変更

## 8.6.4 ログファイル(データベース)へのグラフ保存



### ログファイルへのグラフ保存

- をクリックします。
- ダイアログボックスが表示されます。
- 値を選択します。
- 出力形式を選択します(CSVファイルまたはEDIPDBファイル)。
- CSVファイルの場合:値を選択します。
- **データのエクスポート**をクリックします。
- データベースを保存する場所を選択します。

## 8.6.5 データベースの開閉

### データベースを開く

→ ナビゲーション領域のグラフを右クリックします。

コンテキストメニューが表示されます。

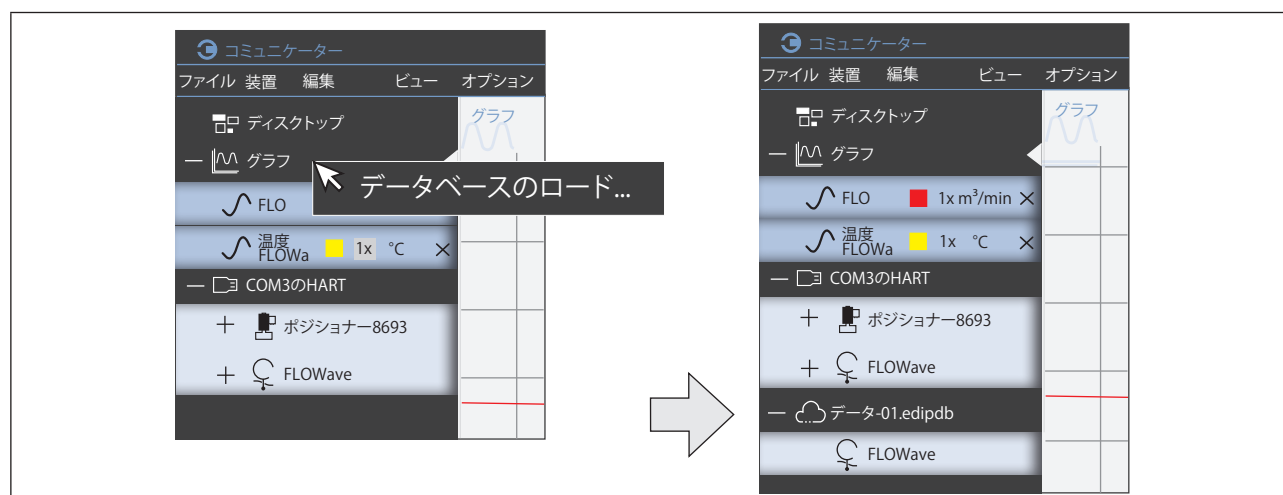
→ **データベースのロード...**をクリックします。

ダイアログボックスが表示されます。

→ データベースを含む保存場所を選択します。

注記: ファイルタイプは(\*.edipdb)です。

✓ データベースは、ファイル名が付いた新しいフォルダの下のナビゲーション領域に表示されます。



挿図 31: データベースを開く

### データベースを閉じる

→ ナビゲーション領域のデータベースを右クリックします。

コンテキストメニューが表示されます。

→ **インターフェースの切断**をクリックします。

✓ データベースが削除されます。



## 8.6.6 その他の機能

x	-	+	Auto-Fit	スクロール	  
y	-	+	Auto-Fit		



### ビューからの値削除

→  をクリックします。

✓ ビューから現時点までのすべての値が削除されます。



### クリップボードへのビュースクリーンショットのコピー

→  をクリックします。

→ クリップボードを別のプログラム(Word等)に貼り付けます。

## 9 コミュニケーターのアンインストール

**手順:**

- コントロールパネルで「プログラムのアンインストール」を選択します（「スタート/コントロールパネル/プログラム/プログラムのアンインストール」）。
- 「Bürkertコミュニケーター」をクリックし、**アンインストール**ボタンをクリックします。
- 入力ウィザードの指示に従ってアンインストールを実行し、Windowsを再起動してプロセスを終了します。

## 10 用語集

グラフ	適用範囲内の表示タイプの名前。 装置または製品のプロセス値は、座標系の曲線として表すことができます。
グラフ	座標系での装置または製品のプロセス値のグラフィック表示。





